

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
 担当課長名：下保 修

事業名	一般国道400号 田島バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	福島県
起終点	自：福島県南会津郡南会津町高野 至：福島県南会津郡下郷町大字戸赤			延長	3.9 km	
事業概要	一般国道400号は、茨城県水戸市を起点とし、福島県耶麻郡西会津町に至る延長約113kmの幹線道路である。田島バイパスは、冬期通行不能区間、異常気象時の通行規制区間の解消、及び幅員狭小区間の解消を目的とした延長3.9kmのバイパス整備事業である。					
H5年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)		H5年度用地着手		H5年度工事着手	
全体事業費	78億円		事業進捗率	65%	供用済延長	1.6 km
計画交通量	1,100台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 27/106億円 事業費：18/95億円 維持管理費：8.5/11億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 96/116億円 走行時間短縮便益：85/105億円 走行経費減少便益：9.1/9.6億円 交通事故減少便益：1.7/1.8億円		基準年 平成19年
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築（大型車すれ違い困難区間の解消、冬期通行不能区間の解消） ・災害への備え（異常気象時通行規制区間の解消） 他7項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見	・会津方部商工観光団体協議会、国道400号舟舳峠隧道期成同盟会、会津総合開発協議会、福島県町村議会議長会等より早期全線供用の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・事業を取り巻く環境は特に変化しておらず、事業採択時と同様の効果発現が見込まれる。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	・平成9年度までに起点側約1.6kmを部分供用した。現在は、残る区間の2号トンネル本体工事を進めている。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・今後は、終点側2.3km区間について、平成21年度までに供用を図ることとしている。					
施設の構造や工法の変更等	・再生路盤材などの建設副産物の有効活用を積極的に進め、コスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	・以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。